

**徳島大学病院
がん看護専門看護師
三木 幸代**

**～自分が大切にしたい看護は何か？
その先にCNSへの道がありました～**

がんと向き合い、自分の人生を大切に生きていくとはどういうことか…そのためにできる看護とは何かを学べるのがCNSコースです。木しかなかった自分が森を知る、そんな素晴らしい学びの場所です。私はその学びを現在がん化学療法看護に活かし、支援のパワーとしています。大学院では目標が共有できる大切な仲間と出会うことができ、専門人としてのやりがいや誇りを感じることができます。ぜひ、がん看護のスペシャリストを目指してください！！

**徳島赤十字病院
がん看護専門看護師
町田 美佳**

**～患者さんの苦痛を軽減
することを大切に～**

がんにかかわらず色々な部署を経験してきました。大学院の受験動機は、急性期病院でのクリティカルな問題を含めたストレス緩和ケアへの興味でした。勉強を進める中で、がん患者さんが抱える個々の複雑な問題は、経験からだけではケアしきれない限界をこれまでずっと消化できていなかったことが自分の中で明らかになり、心はがん看護へ向かいました。

大学院では、がん看護に関する知識ばかりでなく、看護倫理や看護教育などの基礎科目から、これまでの臨床経験をリフレクションすることで課題を見出し、今後の解決方法を思考していく方法を学びました。リフレクションは、普段忙しく仕事をする中ではなかなか機会が持てません。自分の取り上げた事例について、施設や経験が異なる同級生とディスカッションすることにより、全く別の見方があることを発見し、自分の中に取り入れていくという体験は、看護実践を行っていく上での基盤となっています。



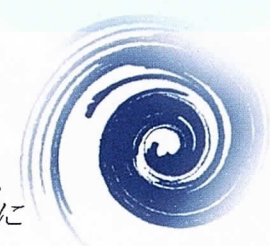
**JA徳島厚生連 阿南共栄病院
がん看護専門看護師
館 美加**

**～患者さん・家族に学ばせて頂き、
仲間に支えられながら、CNSとして
の修行中～**

がん患者さん、ご家族に向き合うとき…その場面の対応に必死でした。CNSとしての今、対応している自分と、それを客観的に見ている自分があることに気づきました。

客観的に見ながら、いろんな引き出しの知識・技術を駆使し、それを分析しながらそこに居ます。大学院はその引き出しの中身(知識・技術)はもとより、その引き出しを増やしどう使っていくかということ、仲間とともに考え学ぶ時間であったと思います。患者さんをエンパワーしながら患者さんにパワーをいただき、格闘の毎日ですが、ぜひOCNとして一緒にがんばりましょう！

**あなたの中に蓄積された看護の経験を、
より確実なものにステップアップするために**



臨床で働いている時には、自分のケアを振り返ってその意味について考えることはほとんどありませんでした。

しかし、授業を通して理論などを用いながらケアの意味づけを行うことで、がん看護の捉え方についてより深く考えるようになりました。

大学院は、自分と向き合い、自分の課題に対して自分なりの答えを導き出す場所であると思います。

保健科学教育部 博士前期課程
木村有里

大学院は自分自身で主体的に学んでいく場です。臨床の中で生じた疑問や繰り返される現象、心の中でかかっている事例、あの時のケアはどうすれば良かったのか？大学院で、ゆとり時間をかけながら患者に取り巻いていた現象や背景、自分自身の看護に対峙してみませんか？きっと学部生の時に気付かなかった看護の深みを学ぶこととなります。知らなかったことを知る楽しみを味わいに、是非大学院に学びに来てください。自分自身で自己を高めていく楽しさを体験してください。お待ちしております。

担当教員 今井 芳枝

流れるように過ぎる日々の臨床の中で、がん患者さんへの関わりや自分自身の看護に“これでいいのか…”と感じることはありませんか？大学院への道を進んでみると、その答えへと導いてくれる方策が見つかるかもしれません。多くの学び、気づき、知識を得る楽しさ、成長や充実感を仲間とともに体験してください。心よりお待ちしております。

担当教員 板東 孝枝